

# 特別養護老人ホーム 「さくらの里若柳」



所在地：宮城県栗原市若柳字川北塚原15-5  
 建築面積：1,814.00㎡  
 延床面積：1,779.60㎡  
 構造・規模：鉄骨造、平屋建  
 主：社会福祉法人 宮城福祉会  
 設計：建築／株群建築設計事務所  
 設備／株新設備設計事務所  
 施工：建築／野口建設㈱  
 電気／村上電業㈱  
 完成：2015年12月

S367

宮城県栗原市にある在宅複合型施設「さくらの里若柳」が、県内における特養待機者数の解消の一策として特別養護老人ホームを増築。共同生活室の照明は、1日の時間のサイクルに合わせて室内を調光・調色し、空間の用途や季節感に合わせた最適なあかり環境を演出しています。

## 特養待機者数解消の一策として、家族や地域との結びつきを重視したユニット方式の特別養護老人ホームを増築

宮城県名取市に本部を置く社会福祉法人宮城福祉会は、現在、県内に福祉施設21施設、保育園4施設を擁しています。18年前に栗原市に完成した在宅複合型施設「さくらの里若柳」は、高齢者人口および高齢化率が予想を超えた速さで増加している栗原市において、特養待機者数の解消と地域における福祉サービスの基盤整備が急務となっていました。このため、県内における特養待機者数の解消の一策として、「さくらの里若柳」は居室10室単位で4ブロックのユニットケア（定員40名）が増築されました。施設管理の効率化を意図して介護サービスの向上を図った各ユニットケアには、居室10室のほか共同生活室、浴室、会話コーナーなどが配備されています。

## 1日の時間のサイクルに合わせて室内を調光・調色し、それぞれの時間帯で最適なあかり空間を演出した共同生活室

ユニットケアの中心となる共同生活室は、高齢者が安心して暮らしを楽しめる快適で心地よい刺激が感じられる居住環境とするため、LED照明による1日の陽射しのサイクルに合わせた色温度をプログラミングし、色温度の変化により時間経過のさりげない知覚を促す照明システム（調光調色照明器具＋照明制御コントローラー）を導入しています。時間の見当がつきにくい認知症の入居者に対し、調光・調色制御により、朝・昼・夕の時間の変化を感じてもらうことで、精神の落ち着きができることを期待しています。

それぞれの居室は住宅用のシーリングライトを、ベッド灯にはブルスイッチ付LEDブラケットを使用して温かみのある家庭的な住まいとしつつ、静かでプライバシーが図れる居住環境を目指した計画となっています。廊下はLEDライトエンジンダウンライトを使用して高齢者の視覚特性を配慮し、全般的に明るめにして、廊下の隅には談話コーナーを設けて単調になりがちな移動空間に変化をもたせています。



1日の陽射しのサイクルに合わせた光の色温度をプログラミングすることで、色温度の変化により時間経過のさりげない知覚を促す共同生活室の照明（写真は5000Kの色温度でさわやかな空間を演出）



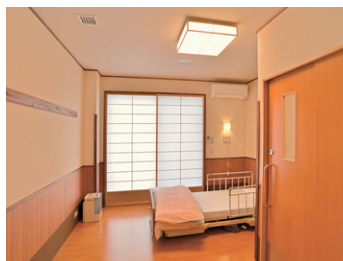
色温度4000Kで落ち着いた明るさを演出



色温度2700Kで温かみあるリラックスした雰囲気演出



(上) 調光調色照明器具  
(下) 照明制御コントローラー



居室のLED和風シーリングライトとベッド灯のLEDブラケットを採用



管理室の照明



ユニットケア内の廊下の照明

### 主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
室内	LEDベースライトTENQ00シリーズ	LEKR422522N-LS9	13	LED 消費電力：33.3W
		LEKR422692N-LS9	8	LED 消費電力：44.5W
		LEKT407251N-LS9	14	LED 消費電力：18.0W
	LEDベースライトTENQ00スクエア	LEKR760961C-LC9	12	LED 消費電力：79.5W
	LEDシーリングライト	LEDH82581N-LC	41	LED 消費電力：62W
	LED一体形ダウンライト	LEDD-15021FL-LS9	60	LED 消費電力：14.6W
	LEDライトエンジンダウンライト	LEDD-16641-LD9	52	LED 消費電力：18.2W
	LEDブラケット	LEDB88056	40	LED 消費電力：5.6W
	照明制御コントローラー	DF-70801C	1	—